

「第50回全国都道府県対抗自転車競技大会」レポート

<開催日：2015年8月21日～23日 会場：岩手 紫波自転車競技場（周長 333m）>

MINOURA大垣レーシング 佐野 伸弥 選手

ケイリン 優勝

今回、出場した大会は、第50回全国都道府県対抗自転車競技大会で、来県行われます岩手国体のリハーサル大会ということで、毎年プレ国体として行われる大会です。

前年の和歌山大会でケイリン種目を、その前年の長崎大会で1000mタイムトライアルを、5年前の山口大会でポイントレースを優勝しており、とても相性のいい大会といえるので、今回も何としても個人二連覇そして三年連続の個人優勝を目指して大会に挑みました。



また、個人種目で優勝することはもちろんなのですが、今回一緒に参加しているメンバーで構成するチームスプリント。自分のほかの選手も高校のインターハイで好成績を出しているメンバーばかりでしたので、団体種目の入賞そして、団体総合成績での上位入賞を目指してチームのリーダーとしてもチームを牽引してきました。

まずは、チームスプリント予選。予選タイムは4位で通過し何とか翌日行われる3-4位決定戦に駒を進めることができました。

そして、個人種目となるケイリン予選。予選は難なく1着でクリアし、翌日の決勝に駒を進めました。

そしてトラック最終日にケイリンの決勝とチームスプリントの3-4位決定戦がありました。

まずは、3-4位決定戦。自分は、できるだけ早くトップスピードに上げて後半さらにスピードを上げていく一走目を任せ、しっかり役目をはたして二走の選手へバトンタッチし二走の選手もしっかりペースを守って三走に回して先にゴールラインを切り3位が確定したと思い喜んでいたのですが、交代の時に失格行為を取られてしまい、4位に降格してしまいました。

タイムは落ちていたものの走りの的にはよかったですので何とか表彰台に乗りたかったのですが、それは国体へと持ち越しとなりました。

一回もこのメンバーで合わせをせずに3-4位決定戦に上がったということで、しっかり国体までの一か月間練習をしていき国体でも成績を出せるようにしていきたいと思います。

そして、個人種目のケイリン決勝です。

この決勝に上がったメンバーが全員自分には負けたくないと思っている感じがヒシヒシと伝わってきて、スタート前から緊張が走っていました。

競技場は雨も降っており普段のパフォーマンスをしっかりと出せるようにだけ意識をしてスタートラインに立ち、初めの周回を4番目でこなしていきました。

ラスト2周となり先頭誘導員が外れていよいよレースが動き始めるところで、ほかの選手と接触してしまい、ラスト一周で最後尾の6番手に回されてしまいました。

そこから空いた場所を確実にせめていき、最終コーナーで先頭に立って最後はしっかり差し切って優勝を抑えることができました。

今回の大会は、バンクにも乗ることができない状態と怪我も完全に治っていない状態での参戦だったため、多少不安はあったものの自分と仲間の力を信じて挑むことによって、岐阜県として団体総合3位という好成績を収めることもできました。

これから、今年一番の大会 国民体育大会に向けて、この都道府県大会の優勝で満足することなく、また体力的にも精神的にもしっかりと追い込んでいき、10年目の選手として恥じない成績を収めてきたいと思います。

2015年9月1日

MINOURA 大垣レーシング 佐野 伸弥

